

江南市立小中学校教職員のみなさんへ

新しい出会いとともに令和8年度が始まりました。昨年度を振り返ってみますと、各学校は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた現職教育・研究主題を設定して授業改善に取り組み、児童生徒一人一人の可能性を拓く教育活動を実践いただきました。教育委員会として敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。

さて、令和8年度教育基本方針には、信頼される学校づくりとして「江南市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定し、実効性のある働き方改革に取り組むことを明記しています。教職員のみなさんが、健康で働きがいをもって教育に専念できる環境を整えることが、児童生徒のより質の高い学びの実現に直結することを、保護者と地域の方々に理解いただき、協働して活力ある学校づくりを推進していきたいと考えています。次世代を築き上げる児童生徒のウェルビーイングと深くかかわる取組です。

「児童生徒の笑顔のため」には、学校と保護者、地域の方々との関係性が重要ですが、もっとも意識すべきは、わくわくして明日も通いたいと語る児童生徒と教職員のみなさんとの信頼関係です。「やってみたいことは何?」「どうして、そう思うの?」「まわりを頼っていいよ」児童生徒一人一人の姿・つぶやきの意味を読み解き、共感的に受け止める優しい眼差しで、安全・安心な居場所づくりをいっそう進めていきたいものです。児童生徒のSOSを見逃さず、分からないとき、つらいときには助けを求めてよいということを学ぶ教育実践も大切です。

日々、研究実践の蓄積を生かしながら学び続ける教職員のみなさんが、児童生徒の「学びのモデル」として、創意工夫に富んだ魅力ある教育活動を展開されることを心から期待しております。

令和8年4月1日

江南市教育委員会教育長

高田和明